

施策マネジメントシート ～令和6年度の振り返りから令和7年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	くらし分野	担当課	市民生活課・福祉事務所			
	政策分野	防災・防犯	課長名	上妻誠一・下川昭代			
	施策	5 市民生活を守る安全対策の充実		重点施策の該当	R6	-	R7
施策の目的	対象	市民	意図	日常生活の様々なトラブルや事故、犯罪被害にあわないようにする			

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標
相談しやすい窓口環境であると感じている人の割合(%)	57.1	63.5	29.7	27.3	24.7 (45.0)	(50.0)
交通事故件数(件)	6	6	2	4	3 (0)	(0)

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
81.6	33.3	83.9	28	85.1	27.2	82.3	24.6		
重要度DI	満足度DI								
78.8	15.1	80.7	2.4	83.3	-0.9	80.0	-4.5		

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標
市民相談の充実		相談しやすい窓口環境であると感じている人の割合(件)	57.1	63.5	29.7	27.3	247 (45.0)	(50.0)
防犯活動の充実		支援団体数(団体)	0	0	0	3	3 (3)	(3)
防犯活動の充実		防犯灯の設置数(基)	1,466	1,475	1,479	1,502	1,522 (1,506)	(1,516)
交通安全の推進		交通安全教室への実施数(件)	13	16	16	17	17 (13)	(13)

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応		
[福祉事務所] 基本事業No.17	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケートでの「相談窓口の利用について」の質問では、昨年度結果とほぼ変わりなく、利用しやすいと感じている人は3割弱であった。昨年度アンケートでも「どんな相談ができるか分からない」という意見があったので、年度当初に相談情報を一覧にまとめた広報チラシを作成し市民へ配布した。 消費生活相談ではインターネット利用に関するトラブルも依然として増加傾向にあり、最近ではSNSを利用した投資詐欺等も全国的な問題となっている。 	
[市民生活課] 基本事業No.18・19	<ul style="list-style-type: none"> 馬毛島基地(仮称)工事に係る車両通行量が増加していることから、交通事故が発生しないよう立哨活動を行う等啓発活動に取り組んだ。 交通事故件数は減少傾向である。 車両通行量や工事関係者の増加による交通事故や治安について、住民からの懸念の声があるため、累次にわたり防衛省に対応を求めた。 地域から防犯灯設置やLED化の要望が多くなっていることから、国の交付金を活用し防犯灯設置及びLED化を行った。 	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題		
成果	現状・課題	
[福祉事務所] 基本事業No.17	<ul style="list-style-type: none"> 法律相談の開催を令和5年度途中から毎月開催に回数を増やしており、相談機会の拡充を図っている。(年間相談延べ件数:R5年度40件→R6年度47件) 毎月2回開催している心理相談会では、会場を市役所会議室から市民会館やまちかどインフォメーションセンターに移したり、個別や集団の相談形式を取入れたりと、より相談しやすい環境づくりに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民総合相談係は、市役所の総合案内の役割も含め、市民の困りごと・悩みごとの相談窓口として定着してきているが、相談窓口の場所や相談方法等について不安や不満の声も少なからずあることから、相談場所の改善や対面以外の相談方法(SNSの活用等)を検討するなど利用しやすい相談環境を作っていく必要がある。
[市民生活課] 基本事業No.18・19	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策として、小学校や保育園等で交通安全教室を実施するとともに、交通指導員を配置した。 防犯対策として、国の交付金を活用し、防犯灯設置やLED化を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 車両通行量や工事関係者の増加による交通事故や治安について、依然として住民からの懸念の声がある。 地域から防犯灯設置やLED化の要望が多く、全ての要望に応えられていない。

施策マネジメントシート ～令和6年度の振り返りから令和7年度の取組へ～

今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)	
継続・現状維持	[福祉事務所] 基本事業No.17	・総合案内の役割も含め、市民からの様々な問合せや困りごと相談の入口として、利用しやすい環境づくりとわかりやすい情報提供に引き続き取り組むとともに、様々な相談ニーズに適切に対応するため、他部署・関係機関との情報共有や連携に努める。
継続・現状維持	[市民生活課] 基本事業No.18・19	・防衛省に対し、馬毛島基地(仮称)工事に係る車両・人流の増加による交通事故や治安について、引き続き、その対応を要望していくとともに、他の関係機関と連携を図りながら、状況に応じた対応を行っていく。 ・防犯灯の設置及びLED化事業を継続していく。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)	
継続・現状維持	[市民福祉部会] 施策担当課の記載する方向性のとおり。	